

子どもから大人までニュースポーツを楽しむ 菊陽町ニュースポーツ体験会を開催

9月13日、町総合体育館でスポーツ推進委員協議会主催によるニュースポーツ体験会が開催されました。当日は6～88歳までの計58人が参加。ニュースポーツは囲碁ボール、シャッフルボード、ダンボールック、フライングディスクゴルフ、スナッグゴルフ、スラックラインの6種目。子どもから大人まで一緒にニュースポーツを楽しみ、「親子で楽しめてよかった」や「区のイベントで取り入れてみたい」という声が聞かれました。



囲碁ボールを楽しむ参加者

小・中学生向け火の国サラマンダーズ野球教室

「多目的グラウンド完成記念」プレイイベント

10月3日、菊陽杉並木公園多目的グラウンドの完成記念プレイイベントとして、火の国サラマンダーズの現役選手22人とコーチを招いた野球教室を開催しました。町内の小・中学校の野球チームから60人が参加。現役選手の投球を打ち返す試合さながらのバッティング体験や、マンツーマンでのピッチング指導を受けました。選手がノックをして、捕球ミスした子どもから脱落していくゲームでは、ボールを取るたびにチームメイトから「いいぞ！頑張れ！」と大きな歓声が上がりました。



集合写真

参加した武蔵ヶ丘中学校2年生でキャプテンの水間しゅんすけ（みずま しゅんすけ）さんは、「バッティングのコツを習ったので、これからの練習で意識したいです」と感謝を伝えました。



さら丸、吉本町長、キャロッピー、火の国サラマンダーズキャプテンの中庭さん



プロの選手からキャッチャーの正しい構えやコツを学ぶ子どもたち



プロの投球フォームを見て実践する子どもたち

(株)アズマシティ開発

企業版ふるさと納税感謝状贈呈式を開催

10月8日、不動産売買や賃貸借管理を行っている(株)アズマシティ開発(熊本市東区)から寄付をいただき、感謝状の贈呈を行いました。

東伸彦代表取締役社長は「先進的な取り組みに関心を持った。町のさらなる発展に役立ててほしい」と話しました。

寄付金は、町の総合計画に掲げるさまざまな施策の推進に活用します。



東代表取締役社長(右)と吉本町長(左)

華麗なトリックで競う

くまモンアーバンスポーツパークで「Flake Cup B戦」を開催

9月22日、小学生以下のスケートボードコンテスト「Flake Cup B戦」をくまモンアーバンスポーツパークで開催しました。本大会は全国6地区で行われる「FLAKE CUP JAPAN TOUR」の地方大会の一つで、4部門に全国から55人の選手が出場しました。

今回、出場選手の約9割が県外から参加し、選手や家族が町内に宿泊しながら事前練習を行うなど、スポーツツーリズムを活かした地域一体のまちづくりにつながる、大きなにぎわいを見せました。



1

当日は、ミニランプと呼ばれる両側が湾曲した構造物を舞台に、華麗なトリックが次々と繰り出されました。会場には菊陽北小学校の先生が駆けつけ、クラスメート全員の思いが詰まった寄せ書きの横断幕を大きく掲げてエールを送る心温まる場面も。熱い声援を力に変えた選手たちが繰り出す華麗なトリックに、会場は熱気と興奮に包まれました。

競技の結果、小学6年生までの女子が出場する「ガールズクラス」では、菊陽西小学校4年生の竹口史真さん(北新山)が優勝。今年度の「FLAKE CUP JAPAN TOUR」で好成績を収めた選手が出場する「チャンピオンシップクラス」では、菊陽北小学校4年生の藤河笑瑠さん(新町)が優勝に輝きました。

2人は来年1月に千葉県のイオンモールで開催される全国大会「FLAKE CUP CHAMPIONSHIP」に出場します。両選手の大舞台での更なる活躍が期待されます。



2



3



4



5



6



7

1. ダイナミックな空中技を決める選手
2. 熱戦を繰り広げる出場選手たち
3. クラスメートの思いが詰まった応援メッセージ
4. ガールズクラスで優勝した竹口史真さん(写真中央)
5. チャンピオンシップクラスで優勝した藤河笑瑠さん(写真中央)
6. 観客を魅了するジャンプトリック
7. 出場選手による集合写真

レジェンド選手から野球を学ぶ

多目的グラウンド完成記念「生涯ベースボール教室」を開催

10月11日、菊陽杉並木公園内に新たに整備した多目的グラウンドの完成を記念し、「生涯ベースボール教室」を開催しました。

元読売巨人軍のレジェンド選手である鹿取義隆さん、篠塚和典さん、緒方耕一さん、西山秀二さんの4人が講師を務め、町内外の50歳以上の野球経験者を対象に、生涯にわたって野球を楽しむコツや、体のケアの仕方などを熱心に伝えました。

以前、テレビで活躍した憧れの選手の指導に、参加者は目を輝かせて聞き入っていました。

また、終盤の質問コーナーや、希望者が鹿取さんの投球に挑む実践バッティング「ビッグチャレンジ」では、参加者から大きな歓声が上がりました。

今回の参加者で最年長となった89歳の今井信秋さん(中尾)は、「今回教えてもらったことを参考に、生涯野球を楽しみたいです」と話しました。



1. 集合写真
2. キャッチボール指導
3. 質問コーナー

幻想的な紙灯籠と笑顔あふれる秋祭り

第11回夢街光の森会秋祭り

10月11日、第11回夢街光の森会秋祭りがひかりのもり公園で開催されました。当日は多くの地域住民が来場し、会場は温かい活気に包まれていました。会場には、模擬店や縁日コーナーが並び、笑顔と歓声が広がりました。夜には町内の幼稚園・保育園・小・中学校の児童・生徒が作製した約4千個の紙灯籠に明かりが灯され、会場は幻想的な雰囲気に包まれました。



会場を優しく照らす紙灯籠

地震からの復興へ

菊陽町PR大使 桂竹紋さんから義援金を受領

10月13日、町PR大使の落語家・桂竹紋さんから吉本町長に熊本地震復興義援金が届けられました。

この義援金は、7月28日に発生した令和8年熊本地震を受け、桂竹紋さんが出演する落語会や勉強会の会場で、全国の皆さんから寄せられたものです。

桂竹紋さんは、「菊陽町のために役立ててほしい」と話しました。桂竹紋さんの温かいお気持ちと全国からの真心は、町の地震からの復興に活用します。



町PR大使 桂竹紋さん(左)と吉本町長(右)